

新市街地（戸磯地区）について

1. 市の考え方

戸磯地区については、JR駅を中心としたコンパクトなまちづくりと新工業団地造成後の就労者の利便性の向上という観点から、「サッポロビール庭園駅からおおよそ南26号までの区域」を当面の開発想定エリアとして進めてきたところですが、サッポロビール庭園駅前に多く所在する小規模な土地における相続未登記の対応などに時間を要することが判明したことに加え、急速に進展するラピダス需要への迅速な対応を行うため、早期開発が可能な手法について引き続き検討を進めて参ります。

2. 直近の取り組み

（1）土地所有者の把握

- 引き続き、サッポロビール庭園駅前に多く所在する小規模な土地に係る所有者の把握が必要となっておりますが、登記簿や戸籍の調査を実施し、所有者がわからない土地の解消に努めております。

（2）土地所有者の意向の確認等

- 引き続き、サッポロビール庭園駅からおおよそ南26号までの区域について、大規模な土地を所有している方を含め、市で連絡先を把握している土地所有者を個別に訪問するなどし、開発についてのご意向等を伺っております。

（3）当面の立地需要面積の整理

- これまでの企業立地動向調査等の結果を踏まえて、当面の立地需要面積を次のとおり整理いたしました。

（対象）「具体的な計画があるため条件が合えば、又は今後の状況次第で検討可能」とした企業数

<令和6年度調査結果>

31社／42ヘクタール

<令和7年度調査結果>

11社／6.9ヘクタール

- 以上より、当面の（半導体関連企業に限定しない）立地需要面積を42社／49ヘクタール程度と見込んでおります。
- なお、これらの企業には継続してヒアリング等を行い、需要顕在時期や詳細面積などの確に把握して参ります。